

出雲街道を歩きながら歴史を再発見

出雲街道根宿おしどりヘルシーウォーク大会

歩きながら出雲街道の魅力
を再発見してもらおうと、3
月21日、第1回出雲街道根
宿・おしどりヘルシーウォ
ークが出雲街道で開かれました。

大会は、金持神社周辺の大
山隠岐国立公園編入2周年を
記念して同大会実行委員会
(窪田憲三大会長)が企画。
松江市や米子市など県内外か
ら206人が参加しました。

コースは、商工会館前をス
タートし、根雨地内の出雲街
道、国道181号線沿いを歩
きながら金持神社で折り返す
約8キロ。参加者は、自分の
ペースでしっかりと歩き、春
の陽気の中、すがすがしい汗
を流しました。また、金持神



206人の参加者が春の出雲街道を歩く



中にはユニークな衣装での参加者も

社で開運祈願をしてもらっ
た。根雨神社や歴史民俗資料
館に立ち寄って地域の歴史に
触れていました。

出雲市から参加した今村ト
キ子さんは「古い町並みが懐
かしく感動しました。いつも
でもこの景色や建物を残して
ほしいものです」と話し、成
瀬信司さん(米子市)は「道
端につくしが生えていて春を
感じました」と楽しかった1
日を振り返っていました。

同大会長の窪田さん(根雨)
は「オシドリシーズン以外の
まちの魅力を掘り起こし、年
間を通して積極的に情報発信
していきたいです」と今後の
抱負を語っていました。

清らかな音色にうっとり

琴名流大正琴の会演奏会

日ごろの練習の成
果を発表しようと、
4月11日、琴名流大
正琴の会演奏会が
町文化センターで開
かれました。

演奏会は、講師の
植木正枝さん(根雨)
ほか同会のメンバ
ーら約60人が出演。「ふ
るさと」「荒城の月」
「祇園小唄」など約25
曲を披露しました。

最後には「うるわし
の春」を来場者と出演
者全員で歌いました。

大正琴の奏でる独特の清ら
かな音色が、ホールに響き渡
り、すばらしい演奏の数々に
会場から大きな拍手が送られ
ていました。



大正琴を披露する会員たち

みんなの夢をのせて出発

農産物加工所「大夢多夢」が下棟に完成



農産物加工品所前でテープカットする関係者

今後JA女性会は、町内
栽培のもち米「スズハラモ
チ」を使ったおこわやもち、
ケチャップなどのソース類
や山菜のおかずなどを作っ
て販売していきます。

名称はJA女性会が募集
し、73通の中から「大夢多
夢」が選ばれました。名づけ
たのは加藤良子さん(別所)
で、「この施設を拠点に、みん
なの夢を乗せて出発したい」
と思いを入れました。

農産物加工品所「大夢多
夢」の完成式が4月8日、下
榎(リバーサイドひの隣り)
で行われました。
式には県や町、JA鳥取
西部の関係者ら約70人が出
席。テープカットをして開
所を祝いました。

加工施設は、杉やヒノキ
など日野産材を70坪使った
木造平屋の約289平方
で、加工室、実習室、みそ熟
成室などがあります。

事業費は鳥取県と日野町
合わせて9198万8千円。
県から町に無償譲渡され、
運営管理をJA鳥取西部に
委託します。



さっそく調理場で山菜料理を作る